

授業科目 日常生活援助論Ⅱ	区分・教育内容		
	専門分野Ⅰ 基礎看護学		
授業担当者 渡部 暢子	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	30 時間
授業の目的 対象の理解と看護実践の基盤となる技術を習得する。			
授業の目標 1. 生活環境の意義を理解し、病床環境を整えるための技術を習得する。 2. 衣生活の意義を理解し、病衣を交換するための技術を習得する。 3. 身体の清潔の意義を理解し、清潔保持のための基礎的技術を習得する。			
授業概要 人間が生命を維持し、疾病の予防や回復・健康の増進をするためには、快適な生活環境が必要である。とくに、患者にとって快適な療養環境は、病状安定、治療効果の発揮、闘病意欲の向上の面から極めて重要である。療養環境を整えるための技術を学び、患者の治療・生活の場である病室・病床に対して自然に目配りができ、安全や安楽を阻害する因子をいち早く発見し対応できるようになってほしい。また、病気や障害、加齢、治療上の制約などにより自分自身で身体を清潔に保つことや、必要に応じて衣服を着替えることが困難な状況にある人たちへの援助の方法を学ぶ。援助を適切に実施するための基本的な看護技術を習得するとともに、身体の清潔の保持や衣服を身につける意義についても考えを深め、患者の立場に立って援助することの大切さを学んでほしい。			
授業計画(進め方) 1 回目 病床環境の調整—環境アセスメント— 2 回目 病床の整備とベッドメイキング、リネン類のたたみ方・リネン交換 (ミニ演習) 3～4 回目 リネン交換の実際 (演習) 5 回目 病床での衣生活の援助・整容 6 回目 身体の清潔の援助、清潔を保つ方法—入浴・シャワー浴・清拭— 温湯清拭のデモスト (ミニ演習) 7～8 回目 臥床患者の寝衣交換と上半身清拭の実際 (演習) 9 回目 清潔を保つ方法—陰部洗浄・部分浴について— 10～11 回目 臥床患者の陰部洗浄・オムツ交換の実際 (演習) 12 回目 頭皮の清潔を保つ方法—洗髪— 13～14 回目 臥床患者の洗髪の実際 (演習) 15 回目 清潔を保つ方法—口腔ケア— 意識障害のない患者の口腔ケアの実際 (ミニ演習)			
テキスト ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 メディカ出版 看護技術プラクティス 第4版 学研			
参考書・指定図書 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験、授業態度、提出物、技術習得の状況を総合して評価する。			